

令和4年度 有明の丘研修 実施報告

●令和4年度有明の丘研修(通年度)の受講状況

(令和5年3月30日集計)

コース名	応募状況				修了状況		オンデマンド 講義のみの 受講者
	講義+演習の受講応募				講義+演習の 修了状況		
	受講者数	応募者数 (一般)	応募者数 (OJT)	倍率	修了者数	修了率	
	(a)	(b)	(c)	$\frac{(b) + (c)}{60}$	(d)	(d)/(a)	
①防災基礎	119名	447名	29名	3.97倍	92名	77.3%	143名
②災害への備え	120名	384名	27名	3.43倍	98名	81.7%	136名
③警報避難	120名	292名	30名	2.68倍	98名	81.7%	122名
④応急活動・資源管理	119名	263名	27名	2.42倍	97名	81.5%	116名
⑤被災者支援	120名	262名	26名	2.40倍	97名	80.8%	102名
⑥復旧・復興	115名	149名	17名	1.38倍	83名	72.2%	34名
⑦指揮統制	120名	205名	18名	1.86倍	86名	71.7%	68名
⑧対策立案	120名	258名	25名	2.36倍	96名	80.0%	116名
⑨人材育成	120名	158名	18名	1.47倍	91名	75.8%	39名
⑩総合監理	118名	150名	13名	1.36倍	94名	79.7%	33名
合計	1,191名	2,568名	230名	2.33倍	932名	78.3%	909名

●令和4年度有明の丘研修(第1期)の受講状況

(令和5年3月30日集計)

コース名	応募状況				修了状況		オンデマンド 講義のみの 受講者
	講義+演習の受講応募				講義+演習の 修了状況		
	受講者数	応募者数 (一般)	応募者数 (OJT)	倍率	修了者数	修了率	
	(a)	(b)	(c)	$\frac{(b) + (c)}{60}$	(d)	(d)/(a)	
①防災基礎	59名	306名	26名	5.53倍	37名	62.7%	90名
②災害への備え	60名	251名	21名	4.53倍	43名	71.7%	90名
③警報避難	60名	194名	20名	3.57倍	42名	70.0%	90名
④応急活動・資源管理	59名	171名	15名	3.10倍	41名	69.5%	90名
⑤被災者支援	60名	170名	16名	3.10倍	42名	70.0%	76名
⑥復旧・復興	60名	94名	13名	1.78倍	34名	56.7%	33名
⑦指揮統制	60名	131名	11名	2.37倍	34名	56.7%	55名
⑧対策立案	60名	165名	17名	3.03倍	45名	75.0%	88名
⑨人材育成	60名	103名	8名	1.85倍	42名	70.0%	35名
⑩総合監理	60名	92名	9名	1.68倍	40名	66.7%	33名
合計	598名	1,677名	156名	2.80倍	400名	66.9%	680名

●令和4年度有明の丘研修(第2期)の受講状況

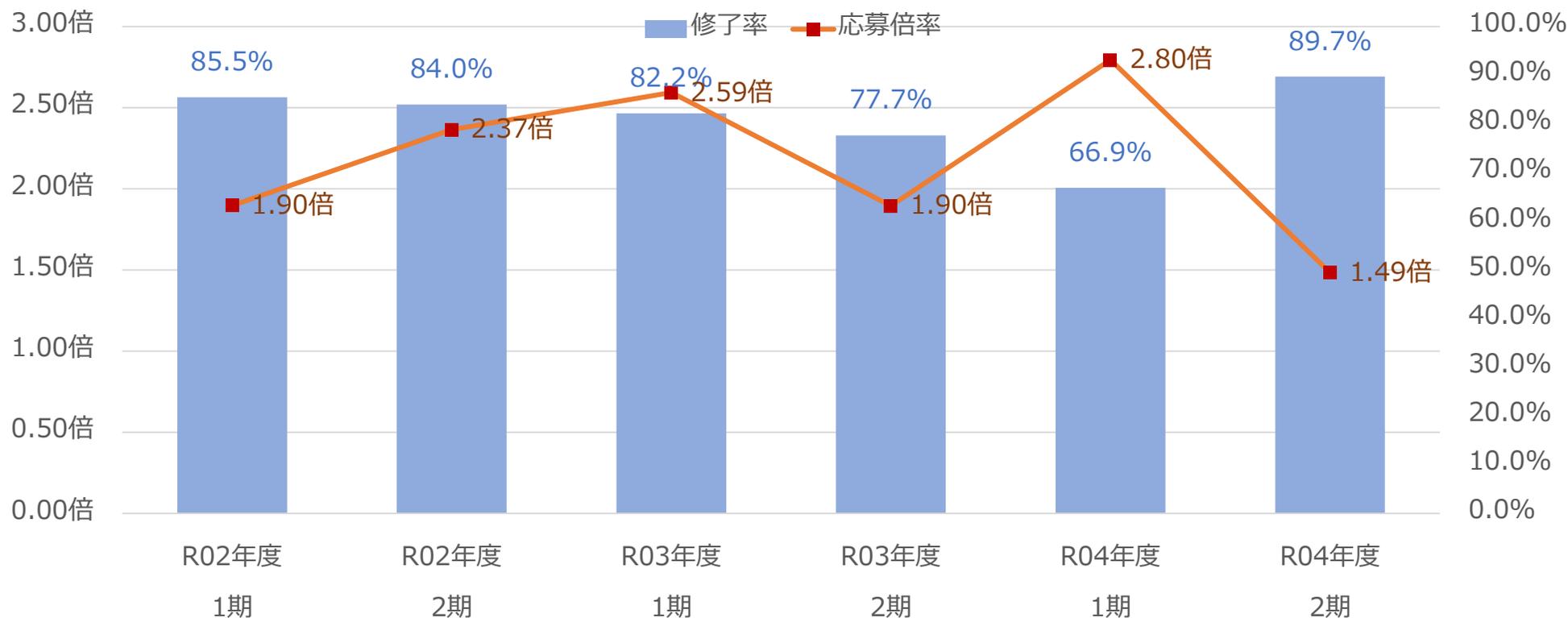
(令和5年3月30日集計)

コース名	応募状況				修了状況		オンデマンド 講義のみの 受講者
	講義+演習の受講応募				講義+演習の 修了状況		
	受講者数	応募者数 (一般)	応募者数 (OJT)	倍率	修了者数	修了率	
	(a)	(b)	(c)	$\frac{(b) + (c)}{60}$	(d)	(d)/(a)	
①防災基礎	60名	141名	3名	2.40倍	55名	91.7%	53名
②災害への備え	60名	133名	6名	2.32倍	55名	91.7%	46名
③警報避難	60名	98名	10名	1.80倍	56名	93.3%	32名
④応急活動・資源管理	60名	92名	12名	1.73倍	56名	93.3%	26名
⑤被災者支援	60名	92名	10名	1.70倍	55名	91.7%	26名
⑥復旧・復興	55名	55名	4名	0.98倍	49名	89.1%	1名
⑦指揮統制	60名	74名	7名	1.35倍	52名	86.7%	13名
⑧対策立案	60名	93名	8名	1.68倍	51名	85.0%	28名
⑨人材育成	60名	55名	10名	1.08倍	49名	81.7%	4名
⑩総合監理	58名	58名	4名	1.03倍	54名	93.1%	0名
合計	593名	891名	74名	1.49倍	532名	89.7%	229名

●応募倍率と修了状況の推移(令和2～4年度)

(令和5年3月30日集計)

年度	期	一般 応募者数	OJT 応募者数	受講者数	修了者数	応募倍率	修了率
R02	1	1,139	135	600	513	1.90倍	85.5%
R02	2	1,419	126	600	504	2.37倍	84.0%
R03	1	1,556	156	600	493	2.59倍	82.2%
R03	2	1,138	63	600	466	1.90倍	77.7%
R04	1	1,677	156	598	400	2.80倍	66.9%
R04	2	891	74	593	532	1.49倍	89.7%



●オンデマンド講義に関するアンケート結果(受講者)

「講義の満足度」は、オンデマンド講義全体では、第1期 88.5点、第2期 88.3点であり、昨年度と同水準に高かった。「講義の方法や進め方の理解のしやすさ」「テキストの視認性・分量の適切さ」とも、第2期のオンデマンド講義全体で「非常にそう思う」「そう思う」の合計が88%以上であり、昨年度と同水準に高かった。

➔オンデマンド講義については、令和3年度と同程度の講義が提供できていたといえる。

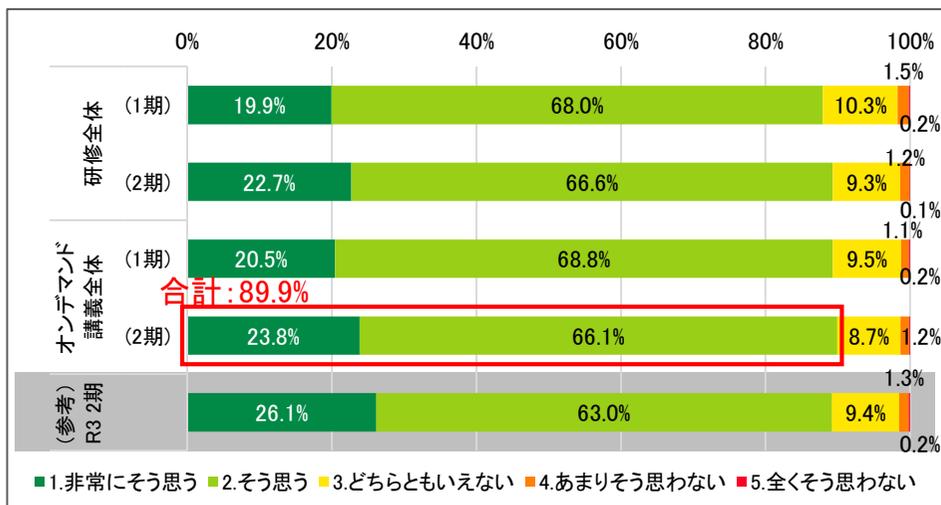
■ 講義の満足度

この講義・演習の内容に対する満足度を100点満点で評価してください。

コース	点数	
	第1期	第2期
研修全体	88.4点	88.3点
オンデマンド講義全体	88.5点	88.3点
(参考)令和3年度 第2期	87.9点	

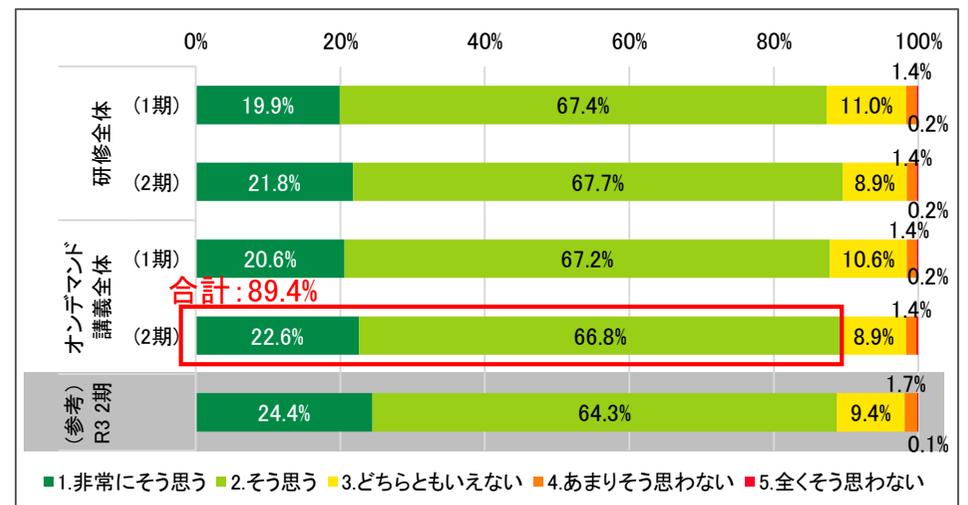
■ 講義の方法や進め方の理解のしやすさ

講義・演習の方法や進め方（話し方・態度・時間配分・作業・班割り等）は、理解しやすかったですか？



■ テキストの視認性・分量の適切さ

テキストの視認性（見やすさ、分かりやすさ）や分量は適切でしたか？



●リアルタイム演習に関するアンケート結果(受講者)

「演習の満足度」は、リアルタイム演習全体では、第1期 88.4点、第2期 88.1点であり、受講者の満足度は高かった。「演習の方法や進め方の理解のしやすさ」「演習の視認性・分量の適切さ」とも、第2期のリアルタイム演習全体で「非常にそう思う」「そう思う」の合計が85%以上であった。

➔リアルタイム演習については、令和3年度と同程度の演習が提供できていたといえる。

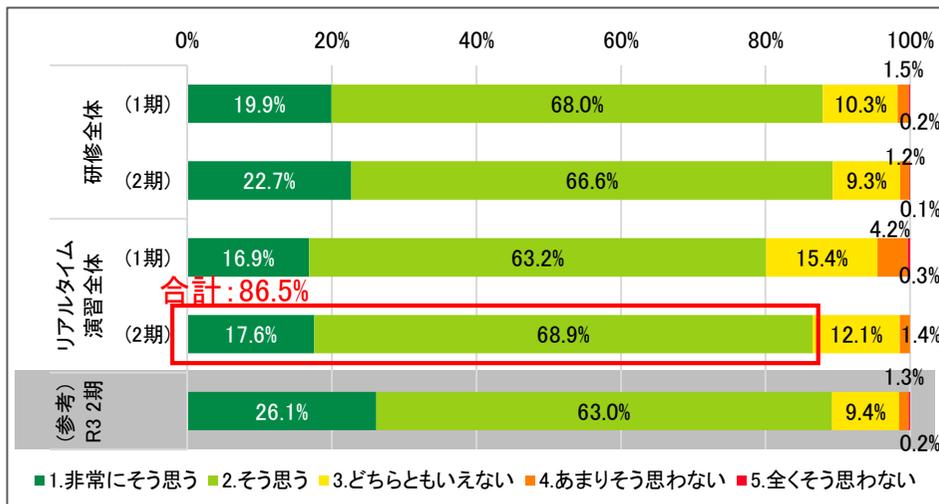
■ 演習の満足度

この講義・演習の内容に対する満足度を100点満点で評価してください。

コース	点数	
	第1期	第2期
研修全体	88.4点	88.3点
リアルタイム演習全体	88.4点	88.1点
(参考)令和3年度 第2期	87.9点	

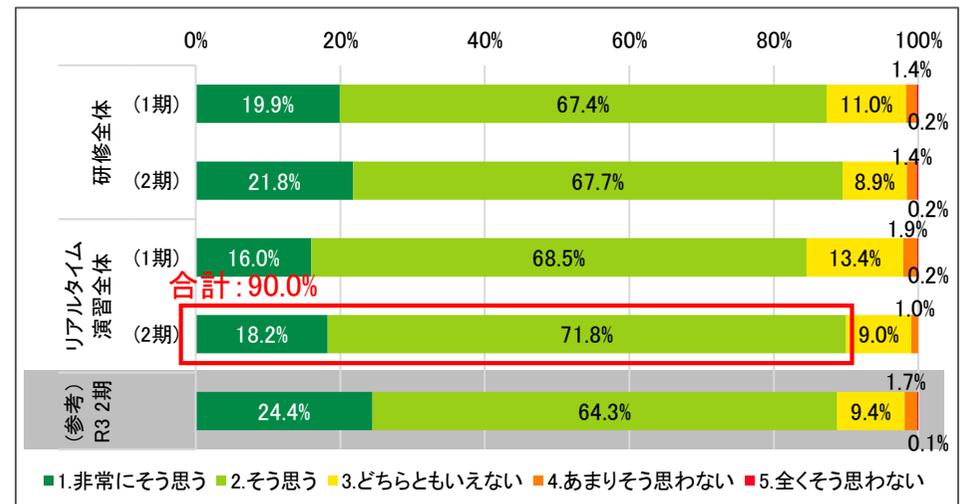
■ 演習の方法や進め方の理解のしやすさ

講義・演習の方法や進め方（話し方・態度・時間配分・作業・班割り等）は、理解しやすかったですか？



■ テキストの視認性・分量の適切さ

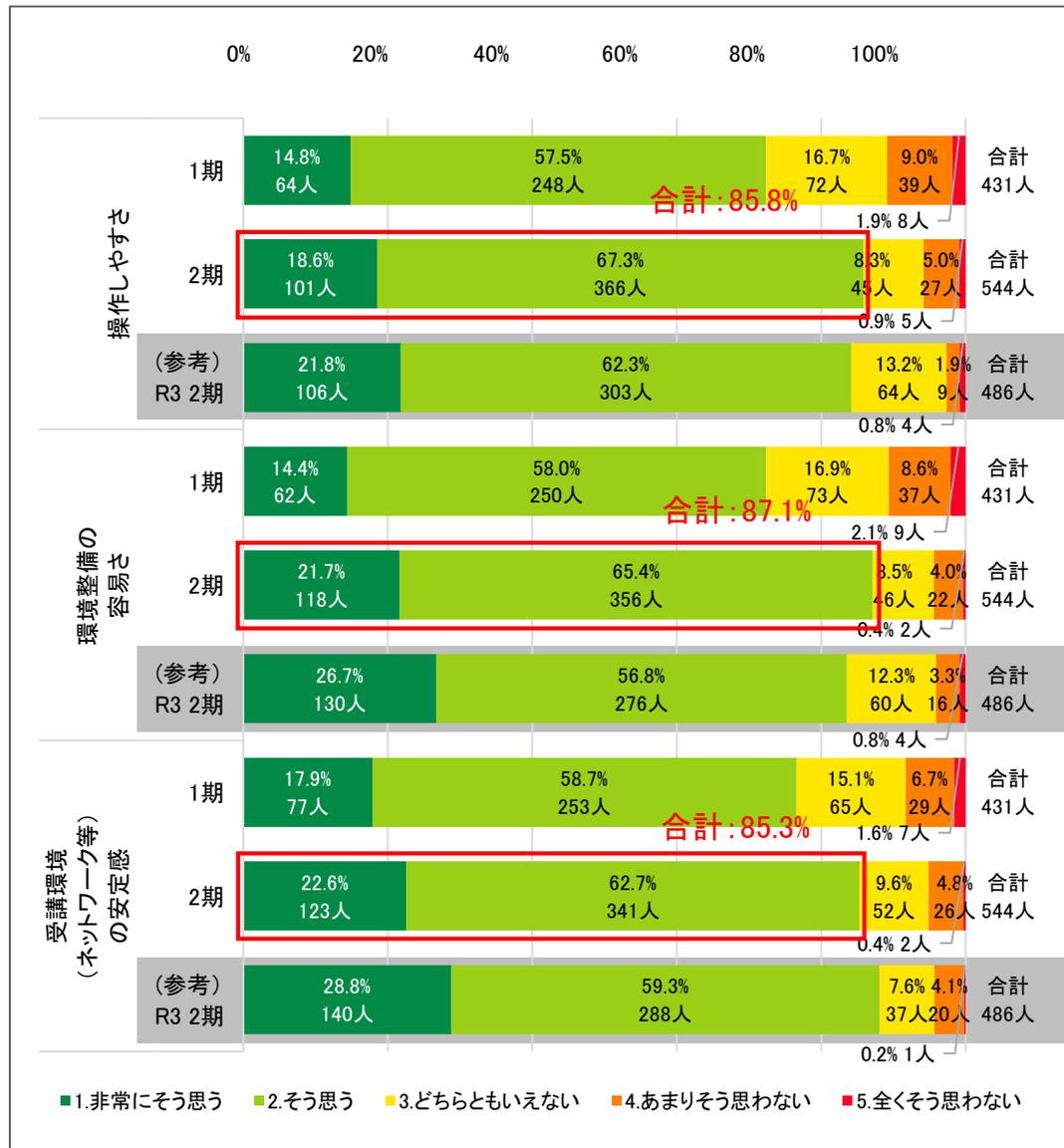
テキストの視認性（見やすさ、分かりやすさ）や分量は適切でしたか？



※防災基礎（第2期）、警報避難（第1期）はアンケートデータ欠損につきデータ無し

● オンデマンド講義システム(LMS)に関するアンケート結果(受講者)

システム(LMS)の「操作しやすさ」、「環境整備の容易さ」、「受講環境(ネットワーク等)の安定感」は、受講生の85%以上が「非常にそう思う」「そう思う」と解答している。オンデマンド講義の受講にあたって困ったことについては、「講義の受講案内や受講状況(未受講/受講済)が分かりにくかった」、「回線の調子が悪く、途中で音声や画像が途切れた。」等の意見が挙げられた。



■ システム(LMS)の評価

- ・オンデマンド講義(LMS)のシステムは操作しやすかったですか?
- ・オンデマンド講義(LMS)の受講にあたって、環境整備は容易でしたか?
- ・オンデマンド講義(LMS)の受講環境(ネットワーク等)は安定していましたか?

■ 受講者意見

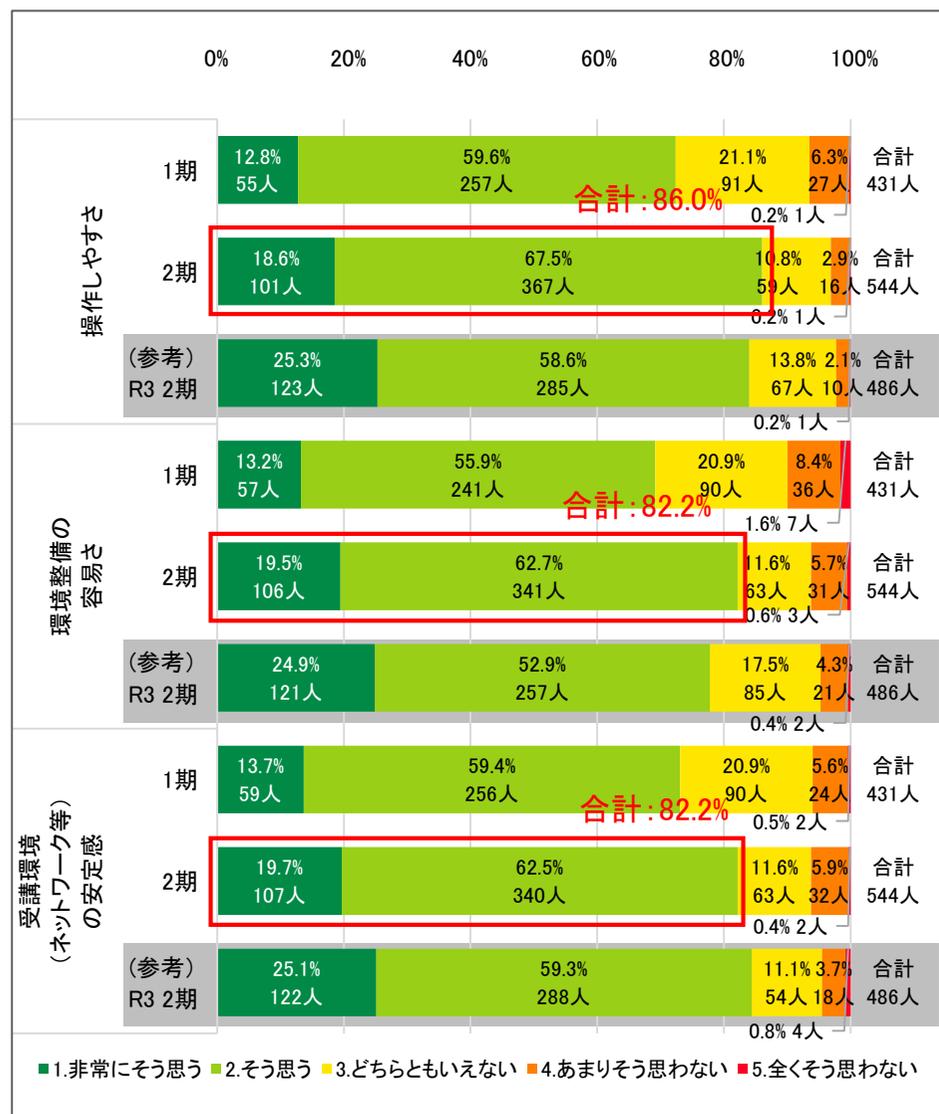
オンデマンド講義(LMS)やリアルタイム演習(Zoom)について、今後の改善に役立てたいため、環境の整備や受講環境等、受講にあたって困ったこと等、ございましたら自由にお書きください。

※オンデマンド講義のシステム(LMS)に関する意見を抜粋

- ・講義の受講案内や受講状況(未受講/受講済)が分かりにくかった。(8人)
- ・回線の調子が悪く、途中で音声や画像が途切れた。(5人)
- ・職場のセキュリティや通信量の制限、職場PCの機能の制限により私物や別のPC等を手配する必要があった。(4人)
- ・動画の視聴状況がLMSに反映されないことがあった。(4人)

● リアルタイム演習システム(Zoom)に関するアンケート結果(受講者)

システム(Zoom)の「操作しやすさ」、「環境整備の容易さ」、「受講環境(ネットワーク等)の安定感」は、受講生の8割以上が「非常にそう思う」「そう思う」と解答している。リアルタイム演習の受講にあたって困ったことについては、前年度までと同様に、「タブレット・スマホでの演習参加は機能制限があって難しい」、「Zoomの操作に慣れていないため、演習中操作に手間取った」、「職場の制限により、私物など別のPCを手配する必要があった」などの意見が挙げられた。コーディネーターからは、「時々、インターネットが不安定になることがあった」、「回線の安定化について、講師と事務局が十分調整してトラブルを未然に防いでいく必要がある」などのご意見をいただいた。



■ リアルタイム演習のシステム(Zoom)の評価

- ・ Zoomのシステムは操作しやすかったですか？
- ・ Zoomの受講にあたって、環境整備は容易でしたか？
- ・ Zoomの受講環境(ネットワーク等)は安定していましたか？

■ 受講者意見

オンデマンド講義(LMS)やリアルタイム演習(Zoom)について、今後の改善に役立てたいため、環境の整備や受講環境等、受講にあたって困ったこと等、ございましたら自由にお書きください。

※リアルタイム演習のシステム(Zoom)に関する意見を抜粋

- ・ 回線の調子が悪く、途中で音声や画像が途切れた。(9人)
- ・ タブレット・スマホでの演習参加は機能制限があって難しい。(6人)
- ・ Zoomの操作に慣れていないため、演習中操作に手間取った(6人)
- ・ 職場のセキュリティや通信量の制限、職場PCの機能の制限により私物や別のPC等を手配する必要があった。(6人) 演習受講用の部屋の確保が難しかった(3人)
- ・ 端末の性能が不足しており、うまく動かなかった(3人)
- ・ 演習中に業務が入って演習に集中できなかった。(1人)

■ コーディネーター意見

最後にご意見等、ございましたら自由におかきください。

※研修全体のリアルタイム演習の改善につながる意見を抜粋

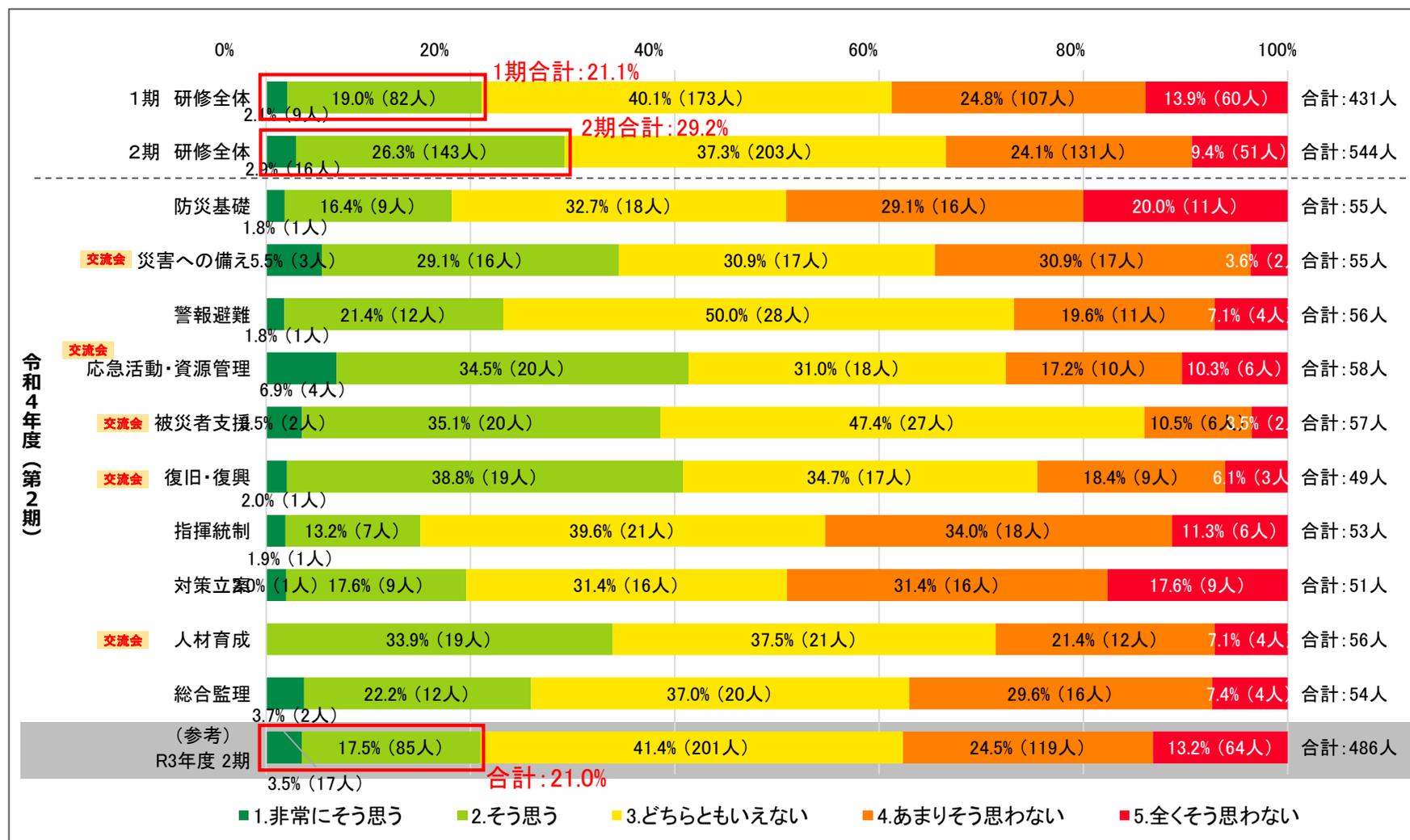
- ・ リアルタイム演習では、回線の安定化について、講師と事務局が十分調整してトラブルを未然に防いでいく必要がある。

● 人的ネットワークの構築に関するアンケート結果(受講者)

令和4年度の1期では、「非常にそう思う」「そう思う」が21.1%、2期では29.2%であり、**2期に改善**が見られた。
 2期のコース別内訳では、災害への備え、応急活動・資源管理、被災者支援、復旧・復興、人材育成の5コースが特に改善。
→オープニング交流会等の個別の交流会を実施したコースでよい結果が得られている。

■ 受講者の人的ネットワークの構築状況

人的ネットワークを作ることができましたか？



●人的ネットワークの構築(各コースの取組みの工夫)

区分	コース	内容
名簿の共有	全コース	・ 連絡先(所属先の電話、メール)入り名簿を受講者に共有した ※連絡先の共有については、受講申し込み時に了承をとった
	防災基礎	・ 受講の動機や現在の業務内容など、時間の制約上、全体での自己紹介では話せない「ひとこと」を掲載した名簿を共有した ・ 同意が得られた講師の連絡先リストを受講者へ共有した
	災害への備え 復旧・復興 人材育成	・ 受講の動機や現在の業務内容など、時間の制約上、全体での自己紹介では話せない「ひとこと」を掲載した名簿を共有した
	警報避難	・ 自己紹介を兼ねて他の受講生と共有したい経験や業務実施上の疑問点、課題等「ひとこと」を掲載した名簿を共有した
	応急活動・ 資源管理	・ 受講者の関心の高い分野や得意な分野を掲載した名簿を共有した
受講者同士の 自己紹介の実施	全コース	・ オープニング交流会、またはリアルタイム演習のどちらか(もしくは両方)でオリエンテーション後、全体での自己紹介を行った
リアルタイム演習 とは別日に 交流会を実施	災害への備え	・ LMS開始直後に「オープニング交流会」を実施し、主催者からの趣旨説明と激励、互いの学習効果を高めるため事前に繋がる場を設けた ・ 全体での自己紹介と、ブレイクアウトルームで、情報交換会・意見交換を行った
	応急活動・ 資源管理	・ LMS開始直後に「交流会」を実施し、主催者からの趣旨説明と激励、また互いの学習効果を高めるため事前に繋がる場を設けた ・ ブレイクアウトルームで、自己紹介やお互いの情報交換等を行った
	被災者支援	・ LMS受講開始前に「オープニング交流会」を実施し主催者からの趣旨説明と激励、互いの学習効果を高めるため事前に繋がる場を設けた ・ 自己紹介や、講義、ブレイクアウトルームで演習を行う班メンバーに分かれ、お互いの情報交換等を行った
	復旧・復興	・ LMS開始直後に「研修生オンライン交流会」を実施し、趣旨説明と激励、互いの学習効果を高めるため事前に繋がる場を設けた ・ 自己紹介、ブレイクアウトルームでお互いの情報交換等を行った
	人材育成	・ LMS開始前に「オープニング交流会」を実施し、主催者からの趣旨説明と激励、互いの学習効果を高めるため事前に繋がる場を設けた ・ 自己紹介後、ランダムに受講生を2等分し、講師が各ルームに分かれて進行、人材育成についての悩みなど受講者同士で討論した
リアルタイム演習 当日に 交流会を実施	防災基礎	・ 演習終了後、自由参加の「講師を交えてフリートーク」の時間を持ち、質疑応答も行った
	災害への備え	・ 全体討論後、自由参加の「質疑応答・交流会」を実施した。 ・ 講師への質問のみでなく、受講者同士の質疑・コメントも可とした。
	警報避難	・ 全体討論後、自由参加の「自由交流会」の場を1時間設けた ・ コースの各講師にも参加いただき、ブレイクアウトルームでテーマ別の部屋を3つ設け各講師が担当、受講者が自由に部屋を移動し、質問、意見交換、交流の時間を持った
	応急活動・ 資源管理	・ 演習の最後に再度ブレイクアウトルームに戻り、グループ討議したメンバーで感想・挨拶等ができる交流時間を5分ほど設けた
	指揮統制 対策立案	・ 全体討論後、コースの各講師にも参加いただき、1時間程度で自由参加の質疑応答(質問会)を実施した
	人材育成	・ 事前に参加したいテーマの希望をとり、テーマごとに部屋を設け(各部屋を1講師が進行)、情報交換、悩み相談等の「人材育成に関する テーマ別情報交換会」を実施した
	総合監理	・ グループ討議の回数を1回→2回に増やし、メンバーも入れ替え、より多くの受講者と討議できるようにした

● 人的ネットワークの構築に関するアンケート結果(コーディネーター)

リアルタイム演習に登壇いただいた講師からは特に意見はなかった。コーディネーターからは、人的ネットワークを構築する方法案として、「ネットワークの形成までは難しいものの、日頃話すことがない他組織の方と接する貴重な機会であり、互いの事情を知ることができる場として強調する」という意見を頂いた。

● コーディネーター

人的ネットワークの構築について、気づいた点、改善点などがあればお書きください。

<オンライン研修での人的ネットワーク構築の取組み>

- ・ 視聴期間または演習前のタイミングで交流会を持つ意義は大きい。
- ・ 交流促進も兼ねて、座学開始の前にオンライン交流会を実施したが、人的交流の促進とともに、オンライン演習・全体討議の進め方に役立った。
- ・ 講師、希望受講者参加による交流会の試みは、追加の質疑などが活発に行われ有意義だった。
- ・ Zoomのブレイクアウトルームによるグループ討議は 参加者もかなり慣れてきたのか活発に行われるようになった。グループ討議の成果を共有する時間がもう少しあれば、Webでも人的交流がもう少し期待できる。

<人的ネットワークを構築する方法案>

- ・ 人的ネットワークの構築は、オンライン演習では限定的であることは否めない。そこで、オンライン演習では、ネットワークの形成までは難しいものの、日頃話すことがない他組織の方と接する貴重な機会であり、互いの事情を知ることができるよう会話を積極的にするとよいと、強調した方が有益だと思う。
- ・ Webでは限界がある。どこかで交流もしくは演習目的の対面の交流会について、検討してもよいのではないか。